清水寺

歴史ある清水寺

清水寺は、七百四十二年僧行基が開山して造ったと伝えられています。

この有名な寺は大正五年の火事で焼けてしまいました。しかし善光寺とともに、「信濃の国」を象徴する大きな存在だったので、地元の人たちは、「なんとかして復興して昔の姿を…」と言っていたそうです。その後も近くの家で火事が起きてその火が清水寺の杉並木に移ってしまいました。火は四キロ先までいき、清水寺もたくさんの建物と仏像も燃えてしまいました。地元の人達はすぐに復興にとりかかりました。清水寺には二十余体の仏像が移されました。この仏像はガラクタ同様の値段で売られようとしていたが、それが国宝級だとわかり、売買を中止したものでした。このように清水寺には深い歴史がたくさんあります。ぜひ清水寺を満喫してください。

長〜い階段

この写真の階段は清水寺と観音堂をつないでいる階段です。階段を登っていくと清水寺の歴史がたくさんあるので楽しめると思います。階段の数を数えてみると楽しさUP。周りのもみじのトンネルをくぐってみたらどうですか。

真っ赤な観音堂

清水寺の観音堂は、きれいな景色が見える所にあります。今の千手観音は、大正五年の火災の後に奈良県石位寺から迎え入れたものです。

今の観音堂は昭和五十年に建てられたものです。観音堂まで長い階段を登ってつかれると思いますが、登りきった時に見える景色と観音堂を見て、つかれを吹き飛ばしてみてください。

はんにゃ道とは、階段を登り終わってから観音堂までの道の事です。ぜひ真っ赤な観音堂を見に来てください。

「はんにゃ道」

〜おすすめ〜

ぼたんの花が咲いている時期は短いので、五月の中旬がベストです。観音堂に行くまでで何百段も階段があり、登りきるにも苦労するけれど、登りきったら真っ赤できれいな観音堂が待っています。

観音堂に行くまでに冷たい水もあり、観音堂を見たら、それまでのつかれが吹き飛ぶこと間違いなし。夏は緑のもみじが、秋は赤くてきれいなもみじのトンネルをくぐれるのでおすすめ。清水寺にはおすすめがたくさんあるので、足を運んでみたらどうですか。

清水寺
ボタン祭り
もみじ祭り
保科温泉